

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [津島市立北小学校] 担当教諭名 [中西 浩之] (6年松・竹組 52名)

相手国・地域 [マラウイ]

海外学校名 [Chitedze L.E.A. Primary School] 担当教諭名 [G. Patrick, M. Kumwenda / 永井 美郷(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	総合的な学習の時間	レッツ ディスカバー ワールド	53
	国語	ようこそ、わたしたちの町へ	10
	国語	未来がよりよくあるために	8
	国語	伝えられてきたもの	6
	社会	今に伝わる室町の文化と人々の暮らし	4
	社会	江戸の社会と文化・学問	4
	社会	世界の中の日本とわたしたち	10
	算数	資料の調べ方	6
	音楽	日本と世界の音楽に親しもう	2
	図画工作	墨で表す	6
	体育	表現運動	2

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Difference is Personality ~ Connected to Earth ~
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	大きなテーマは「カルチャー」としたうえで、人々の暮らしや自然環境、伝統行事など「わたしたちの国や町のよいところ」を紹介する。地球の裏側とも言える両国だが、地球はつながっていて、共に「平和を望んでいる」という姿を表現する。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<p>・「国際理解は国内理解」という通り、交流を通して、外も中も、未だ見ぬ世界を知ろうというモチベーションにつながっていった。また、多様な価値観を認める、という道徳的要素についても理解を深めることにつながった。アフリカの初めて聞いた国との交流であったので児童の記憶に残る取り組みになった。</p>	<p>・児童は英語もなかなか身につけていない段階であるので、フォーラムやスカイプ通話に苦戦した。また、相手国の電波環境が整っておらず、最後のスカイプで、相手の顔が見られなかったことが残念でした。また、いつでも児童がフォーラムを見ることが出来る環境をつくるのが必須だな、と感じた。</p>

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>・卒業式の前々日、TV番組「世界の村で発見！こんなところに日本人」でマラウイの特集がなされた。児童に聞くと、かなりの子が視聴していた。そして、誰もがこれまで学んだことをベースに「親近感」を抱いていた。この子たちは世界の人々、平和を大事にするような大人になる、と確信した瞬間だった。</p>	<p>・子ども主体の総合的な学習の時間を作るため、ある程度の単元構想を計画しながら、柔軟にその時の子どもの様子や要望によって軌道修正していくことができた。国際理解学習とはどういうものなのかを子どもを通じて知るきっかけとなり、自分自身も活動にのめり込んでいった。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
<p>出会い 自己紹介</p>	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で自己紹介カードの製作。 ・学校紹介のビデオ撮影。 ・絵本「風をつかまえたウィリアム」の読み聞かせ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ地球の裏側と聞いて想像がつかない。アフリカには一体何があるの？ ・上手に交流できるか不安。 ・わくわくする活動だ、やる気が出た！ 	総合2
<p>共有 テーマ学習</p>	6月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・マラウイ共和国について調べ、新聞形式でまとめる。 ・ふるさと津島の宝の紹介製作。 ・日本の伝統文化体験。(茶道、座禅、水墨画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産が二つある。行ってみたい。魚の固有種が気になる。 ・今まで常識だと思っていたことが覆された！ ・自分のふるさとのことをもっと知らなきゃいけないと思った。 	総合11 国語24 社会8 算数6 音楽2 図工6
<p>融合 メッセージ 壁画デザイン</p>	9月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・マラウイ新聞をもとに、調査報告会を開く。 ・フォーラムで学んだことを伝え合う。 ・テーマに沿ったプレゼントを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠く離れていても共通なことがあるんだ。もっと交流したい。 ・平和や明るい未来を一緒に作ってみたい。 	総合10 体育2
<p>創造 壁画制作</p>	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿って描くべき絵をブレインストーミングで出し合い、KJ法で整理する。 ・全員で描く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ絵を見ても、立ち止まって世界が広がるような、心が広がるような壁画にしたい。 ・相手もつなげやすい配色にしたい。 	総合19
<p>評価 振り返り 自己評価</p>	12月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・12月にはこの1年の活動ぶりを振り返り、自己評価する。 ・鑑賞会を3月に開催し、卒業式で披露する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絶対忘れられない1年になった。 ・今まで常識だと思っていたことが覆された。 ・今後も世界について目を向けたい。 	総合11 社会10

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	ふるさと津島のものしり検定を受験したり、ジュニア選手権という地域の大会に出たり、積極的に理解を深めていった。
異文化の理解	A	4	いつからかマラウイ、アフリカに親近感を覚えた。そのくらい、心を込めて取り組むことができていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	3	英語はまだまだ不十分である。マラウイで使われているチェワ語も、知りたいという気持ちはあるが、簡単なあいさつに留まる。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	2	インターネットで取り入れた複数の情報を取捨選択するのが得意である。ただし、マラウイの情報が少なく、十分に深められず。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	A	3	多様な文化を認めることが、多様な個性を認めることにつながり、具体的に「受け入れる・認める」行為が増えたように感じた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	4チームに分け、役割分担を児童の希望をもとに行ったことで、協働する関係性はよく見ることができた。
学習を追究する意欲	A	2	情報量の少なさと、互いの発信の時間差が生まれたことで、どうしても意欲を持続させるのは難しいと感じた。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	B	3	どうしても個人差が生まれ、チームごとに偏りが見られたが、表上の表現はともかく、気持ちはとてもこもっていた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	3	保護者の方への鑑賞の機会としてホームページや作品展・卒業式がもてたが、説明の場を設けるとよいと感じた。